

副専攻名 フィールド文化学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方やフィールド調査における基本技術を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」のほか、「フィールド基礎実習」で自分の足で歩き、自分の目で見、自分の肌で感じるフィールド体験から学ぶとともに、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力をつける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
11014	フィールド文化学概説	フィールドワークとはどんな方法か、実際にどのように調査がおこなわれ、調査から得られるデータをどう整理・分析し、最終的に報告としていかに仕上げてゆくかを具体的な事例を通して学ぶ。	1		
41401	比較文化学概説	比較文化学の基本的な方法論や視点を、具体的な事例を通して学ぶ。	2		*
41402	文化人類学概説	文化人類学の基本的な考え方やものの見方を学び、異文化・異社会を理解する基礎力を身につける。	2		*
41403	文化遺産学概説	有形・無形の別を問わず、文化遺産全般に対する基礎的な知識を身につける。	2	*	
41404	フィールド調査法	人文系フィールドワークに必要な基礎的知識と技術を身につける。	2	*	
41441	フィールド基礎実習	調査テーマの選び方、聞き取り、参与観察、音声・画像・ビデオ・データの記録・整理・活用、文字記録のつけ方と整理・分析法、仮説の形成ときたえ方、報告書の構成法などを実習を通して身につける。	2		
41406	宗教文化論	仏教寺院の建築を通して、日本建築の特質を理解できるようにする。	2~4	*	
41407	仏教文化論	インドで起こり、日本を含むアジア各地に伝播した仏教が、それぞれの地域と時代でどのような文化を生み出したかを学ぶ。	2~4		
41405	比較文化論	世界の歴史的建造物を通して、建築が文化の表現であり、民族性、社会性などを読み取ることができるようにする。	2,3年		*
41410	日本の思想と宗教	仏教思想を中心に日本の思想と宗教に関する基礎的な知識と分析方法を習得する。	2,3年		*
41450	日本文化論	日本の文化の持つ独自性と普遍性を、世界のさまざまな文化と対比しながら学ぶ。	2,3年		*
41449	文化情報論	文化の持つさまざまな情報を収集、整理し、さらに発信する理論と実践を習得する。	2,3年	*	
41408	文化変容論	文化の受容と変容におけるメカニズムと表象を、学際的に研究する方法を習得する。	2~4	*	
41409	南アジア文化論	仏教石窟、ヒンドゥー教寺院を通して、建築文化の融合の様相を把握できるようにする。	2~4		*
41413	比較民族誌	東南アジアの、民族状況や民族の生活を学ぶことを通して、異文化理解の力を身につける。	2~4		
41412	文化人類学講義	「伝統」および「現代」に関して、世界中の具体的な事例をとりあげながら、その概念および実態を学ぶ。	2~4		*
41411	地域文化論	文化人類学の視点から見た地域文化のあり方を、具体的事例検討を通じて把握する。	2,3年	*	
41415	物質文化論	ヒトが作り、使うモノ(=物質文化)の歴史を考古資料、画像資料、文献資料、民俗資料などから跡付ける方法を学ぶ。	2~4		
41416	比較先史学	世界各地の先史時代文化・社会を比較することで、地域的・民族的な特殊性と人類共通の普遍性とを抽出し、人類史の具体相について理解を深める。	2~4		

副専攻名 フィールド文化学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方やフィールド調査における基本技術を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」のほか、「フィールド基礎実習」で自分の足で歩き、自分の目で見、自分の肌で感じるフィールド体験から学ぶとともに、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力をつける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41417	西アジア文化論	西アジア=アラブ=イスラームという偏った図式から一旦離れ、西アジア世界の本当の奥行きを知る。	2～4		
41418	西アジア先史学	西アジアの新石器時代～青銅器時代文化について、具体的な遺跡を通して学ぶ。	2～4		*
41420	西洋美術史A	西洋美術の流れを様式史として把握するとともに人間と美術の関係を歴史的背景の中で考察できるようにする。	2～4	*	
41421	西洋美術史B	西欧におけるルネサンス美術について、その時代背景を踏まえて、作品の主題と表現を考察できるようにする。	2～4		*
41419	比較美術史	東西の美術作品を視覚的かつ歴史的に洞察し、現代的視野でアプローチすることができるようにする。	2年	*	
41452	古代文明論	世界各地の古代文明の成立・発展・衰退の過程について、考古資料、建築資料、図像資料、文字資料などを駆使して研究する方法を学ぶ。	2、3年	*	
41453	世界遺産学	人類共有の財産とされる「世界遺産」の制度と理念、保護と振興、法整備と国際協力などの諸問題について基本的知識を身につける。	2、3年	*	
41425	比較文化論演習A	仏教に関する文献の読解力と、図像作品を解釈する方法、さらに発表の技法を身につける。	2～4		
41426	比較文化論演習B	仏教に関する文献の読解力と、図像作品を解釈する方法、さらに発表の技法を身につける。	2～4		
41427	南アジア文化論演習A	インドの文化を表象する彫刻、建築の基本的な文献を読み、作品の主題と意匠を文化的背景	2～4	*	
41428	南アジア文化論演習B	文献購読を通して建築用語になじみ、建築意匠の特質を理解できるようにする。	2～4		*
41429	アジア文化交流史演習A	仏教美術研究の比較文化史的手法を身につける。	2～4	*	
41430	アジア文化交流史演習B	仏教美術研究の比較文化史的手法を身につける。	2～4		*
41454	文化情報論演習A	文化の持つさまざまな情報を収集、整理、発信するための手法を身につける。	2年	*	
41455	文化情報論演習B	文化の持つさまざまな情報を収集、整理、発信するための手法を身につける。	2年		*
41431	地域文化論演習A	地域文化に関する民族誌や研究書を読むことで、地域文化が住民のつくる社会、制度、慣習、またその主要な生業や宗教信仰など多様な要素から構成されていることを知る。	2年		*
41432	地域文化論演習B	事例研究を通して、文化を生かした地域社会のあり方やその生かし方を考えることができるようにする。	2年	*	
41433	文化人類学演習A	特に英語で書かれたモノグラフを読むことを通して、文化人類学の報告書の読み方を学び、人類学的なものの見方の基礎を身につける。	2～4	*	
41434	文化人類学演習B	文化人類学および日本民俗学分野の日本語の論文を読み、内容を正確に理解するとともに、人類学的なものの見方を身につける。	2～4		*

副専攻名 フィールド文化学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方やフィールド調査における基本技術を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」のほか、「フィールド基礎実習」で自分の足で歩き、自分の目で見、自分の肌で感じるフィールド体験から学ぶとともに、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力をつける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41435	ヨーロッパ文化遺産学演習A	16世紀末に刊行されたイエズス会の図説福音書をテキストにキリスト教図像学の基礎を身につける。	2~4	*	
41436	ヨーロッパ文化遺産学演習B	キリスト教の「旧約聖書」図像学を中心に、キリスト教美術読解の方法を身につける。	2~4		*
41437	東アジア文化遺産学演習A	東アジアにおける文化遺産学研究の現状と課題について幅広い知識を身に付けるとともに、実際の研究事例に当たり、理論と方法についても理解を深める。	2~4	*	
41438	東アジア文化遺産学演習B	いわゆる先史／歴史時代の垣根を取り払い、考古資料、図像資料、文献資料、民族・民俗資料などを駆使して、東アジアにおける物質文化の変遷を明らかにする方法を身につける。	2~4		*
41439	西アジア文化遺産学演習A	西アジア先史・古代の文化遺産について、遺跡を単位として、具体的な調査データを基に遺跡のもつ歴史的・文化的意義を考察できるようにする。	2~4	*	
41440	西アジア文化遺産学演習B	西アジア先史・古代の文化遺産について、その基本的枠組みを理解した上で、特定の遺跡についての包括的な考察ができるようにする。	2~4		*
41442	比較文化学実習A	仏教儀礼、仏教美術、建築の調査を通して、比較文化学の基礎的な手法を身につける。	3~4	*	
41443	比較文化学実習B	比較文化学の基礎的な手法とともに、写真撮影の基本的な技術、デジタルデータの処理・整理・保存方法、ワード、エクセル、Photoshop等のソフトウェアの活用法などを身につける。	3~4		*
41444	文化人類学実習A	ミクロな地域社会での生活を、社会、経済、家族関係、信仰などの観点から総合的に把握する方法を身につける。	3~4	*	
41445	文化人類学実習B	現地調査の観察・聞き取り資料や文献・統計資料をもとに、随時補充調査をおこないながら、データを整理・分析し、調査報告書の形に纏めてゆく方法を学ぶ。	3~4		*
41446	文化遺産学実習A	文化遺産学分野の調査・研究に必要な、(各種照明を含む)写真撮影・画像処理・遺構実測・遺物実測・拓本などの基本的スキルを身につける。	3~4	*	
41447	文化遺産学実習B	文化遺産学実習Aで習得したスキルを高度に発展させ、応用力を身につける。	3~4		*